



# 住宅

# 産業情報



日本のお客様とアメリカを結ぶ日本語版情報誌

発行：米国ワシントン州政府通商経済開発局

## 目次

ストリート・オブ・ドリームズ  
2004・イン・ポートランド…… 1

シアトル“センシブルハウス”、  
グリーン・ビルディング評価で  
最高点を記録 …………… 1

米国改正建築基準法の施行  
…………… 2

日本市場で成長を続けるジェ  
ルドウェン …………… 3

改正建築基準法の施行と米国建  
材メーカーの対応…………… 4

プロフェッショナル・ヴェー  
ティンバーフレーム工法という  
選択…………… 5

アメリカの住宅に学ぶトータ  
ルコーディネートの考え方  
…………… 6

北米住宅建築システム+パッ  
ケージ通関=輸入住宅の原点  
…………… 12

アメリカ住宅視察ツアー  
…………… 13

Meet EPBA  
パクリム・ビルディング・サブライ社  
…………… 14

ワシントン州政府が発行する  
書籍一覧 …………… 15

### 広告ページ一覧

- ウェスタン・パシフィック・ビルディング・マテリアルズ — 2
- MK USA INC. — 3
- BMD — 4
- パクリム・ビルディング・サブライ — 8
- シンブソン — 9
- アームストロング — 16

## ストリート・オブ・ドリームズ 2004・イン・ポートランド

今年で29回目を迎えたポートランドストリートオブドリームズ。今回の開催場所は、オレゴン州ポートランドから東へ15キロほどのオレゴン・シティーにて、8月7日から9月6日まで、米国最新のホームデザイン・建築資材・テクノロジーなどが集結した7棟が公開展示されました。

7棟の住宅規模は、425㎡から570㎡までで、売却価格は約1億2千万円から2億円まで。そのうちの3棟は既に売却済みとなっていますが、ストリートオブドリームズ開催期間中は内見できます。残りの4棟についても、開催期間中に売却できる見通しとなっています。

### ポートランド・ストリート・オブドリームズ 受賞住宅



- グレート・リトリート  
KDCコンストラクション社
- ベスト・オブ・ショー（不動産・専門家賞）
- ベスト・アーキテクチュラル・デザイン
- ベスト・キッチン
- ベスト・ランドスケープ（不動産グループ賞）
- ベスト・マスタースイート
- ベスト・ホームファニッシング（不動産グループ賞）



- ヒデン・レイク・ロッジ  
Skreenコンストラクション社
- ベスト・ランドスケープ（専門家・来場者賞）
- ベスト・オブ・ショー（来場者賞）

今年は、緑豊かな周辺環境に駆け込むウェスタンスタイルのロッジやイングリッシュ・ツーターとフレンチノルマンディーの影響を受けた中世スタイル、ヨーロピアンロッジスタイル、伝統的北西部の田舎スタイル、北西部コンテンポラリースタイルなど、各棟それぞれバラエティー溢れるデザインスタイルを採用していましたが、全棟共通して外壁に自然なアースカラーを採用しているのが見られました。

また、大きな暖炉を持つグレートルームと広いオープンキッチンスペースとが隣接していたり、大きなバーベキューグリルがある野外台所やテレビ、ガス暖炉などのアメニティーが設備されたアウトドアデッキも全棟に見られました。最新の冷暖房HVACテクノロジーと併用して、省エネ設備は主にキッチンとランドリーエリアに設置されていました。

(10ページ上段につづく)

## シアトル“センシブルハウス”、 グリーン・ビルディング評価で 最高点を記録

シアトルでは、これまでに“Built Green”プログラムによって『環境に優しい』と評価された住宅が4,200棟ありますが、ここでご紹介する“センシブルハウス”は、それらの中でも、またこれまでにシアトルで建てられたどの住宅より、最も『環境に優しい』との評価を受けた住宅です。

センシブルハウスは、シアトルのダウンタウンより8km程離れた場所に建てられています。2004年2月に竣工し、170㎡の母屋と60㎡の小さなケアテーカー用アパートを含め、総床面積は230㎡です。この建築工事総費用は、約5,500万円でした。

このセンシブルハウスのオーナーは環境を大切にすることに強い信念をもっており、この住宅を選んだのも、彼らの価値観を反映するような、また近隣の住民にもグリーン・ビルディングが望ましい建築物であることを証明したい、との思いがあったからです。加えて、オーナーはエネルギー使用を最小限に抑えること、そして環境に優しい建築資材を使用したいと望んでいました。



センシブルハウス外観



ソーラーシステム

8月30日にエバグリーン建築資材貿易振興会（EBPA）の夏季住宅視察ツアーに日本から参加した21名のビルダーや設計家が、このセンシブルハウスを訪れ、ホームオーナーと住宅を建築したサンシャイン・コンストラクション社のジョン・アレキサンダー氏（jonalex315@aol.com）と面会しました。

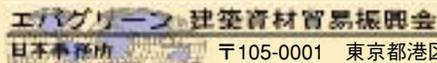


センシブルハウスを訪れたエバグリーン建築資材貿易振興会住宅視察ツアーの参加者

(10ページ下段につづく)



連絡先：米国ワシントン州政府通商経済開発局日本事務所  
〒105-0001 東京都港区虎ノ門5-4-8-301 TEL：03-5776-7766 FAX：03-3459-0897  
e-mail：wsjoban@gol.comhttp://www.oted.wa.gov/trade/jpn\_housing/  
担当：伴（ばん）宜子 Contact：Noriko Ban



エバグリーン 建築資材貿易振興会  
日本事務局  
〒105-0001 東京都港区虎ノ門5-4-8-301  
TEL：03-3459-0898 FAX：03-3459-0897  
e-mail：ebpa@mue.biglobe.ne.jp http://www.ep.org/  
担当：梶田 章 Contact：Akira Kajita



## 米国改正建築基準法の施行

スコット・シンプソン氏  
(S.S. フレーミング・インク社)



米国で施工されている耐力壁

S.S. フレーミング・インク社 (<http://www.streetofdreamspdx.com/>) の代表取締役社長。ワシントン州シアトル市在住。ラフ・カーベントリーとフレーミングに関する2冊の本の著者でもある(最初の本は日本語に翻訳され、ワシントン州政府日本事務所にて入手可能)。30年以上のフレーミング経験があり、日本での建築計画参加経験も含めて数百棟の建築経験を有する。

アメリカ西部の開拓精神は今でもアメリカ人の魂の一部である。当時のカウボーイのように星空の下でキャンプするようなことはなくなったが、今では定住の地で雨風を凌ぐために住宅を建てる。その結果、公共衛生や安全性、福祉を確立するための最低限の必要条件を定める建築基準法が生まれた。最初の基準法として知られるのは、バビロニア帝国の王が定めたハムロビ法が有名であるが、アメリカで最初に基準法が定められたのは1915年のことで、BOCA (Building Officials & Code Administrators International) が建築工法を統一化したのが始まりとされる。その後アメリカ国内の各地で2つの建築基準制定機関が発足し、これら3団体が分担する形で、全米各地それぞれの地理や気候などの違いなどに合った基準法を制定した。

また、建築資材や金物の製造者やビルダーがだんだん全国的規模になり、規格化の整備も必要とされてきた。1994年に、基準を定める3団体は共同で、ICC (International Code Council) を設立、非政府系・非営利団体で、包括的な全米建築基準法の整備をすすめることとした。

2000年には、ICCは初版の全米建築基準法となる商業用IBC (the International Building Code) と住宅用IRC (the International Residential Code) を制定した。IRCでは、1~2世帯住宅とタウンハウスなどの1世帯住居の集合住宅で3階以下のものを対象としており、IBCでは全ての建築物を対象としている。2003年には訂正・改正版が発行され、以後3年毎に改正されることになっている。



2000 IRC & IBC

上記の2つの建築基準法の他に、ICCが定めている基準法は以下の通り。

- ・ICC電気関係基準法
- ・全米施行済建築基準法
- ・全米防火基準法
- ・全米燃料・ガス関係基準法
- ・全米機会関係基準法
- ・ICC 建築物・設備性能基準法
- ・全米配管関係基準法
- ・全米下水道関連基準法
- ・全米建物・土地メンテナンス関連基準法
- ・全米都市・自然境界関連基準法
- ・全米都市計画区画関連基準法

これらの分野の基準法の統合には、数年もの

月日を要した。例えば、私はワシントン州内で活動しているが、つい1年前までIBC2003年版の審議・承認のための委員会が発足しなかった。委員会ではこの基準法を基本として当州に適用する基準法の改正や追加を行った。現在では全米50州の内48州がこのIBC基準法を採用しているが、これらの州内であっても各市や地方自治体でIBCへの移行が進んでいない地域もある。

フレーミングを請負う者として、私は2000年に初めて初版の全米建築基準法が制定された時からこの基準法の一部に準拠しているが、IBC建築基準法を規格として計画された建築プロジェクトに参加したのは今年が初めてである。

IBCの構成内容は、ほとんど以前の建築基準法と変わりはないが、幾つかは大きな相違点が見られる。(“ラフ”な)フレーマーにとっては、3" x 131釘がネイルチャートに追加されたのは大きな利点である。米国西海岸部でフレーミングに使用する釘の規格サイズは3" x 131なのだが、今までの基準法では、ネイルガンにはサイズが合わない3-1/2" x 162の通常釘しか参照されていなかったのである。

また基準法内で改正が続く分野に、耐震性基準がある。例えば、日本で起きた神戸・阪神大震災後、神戸地域で建設された2x4工法住宅を含む住宅の地震への影響を調べるため、アメリカのエンジニアが日本へ派遣された。調査の後帰国した彼らは、その調査結果を基準法の改正に反映し、合板で補強した耐力壁やホールダウン金物の使用が耐震性を高めることが全ての改正版基準法へ追加されている。下記の写真では、基準法に準じた耐力壁の施工例を示している。

基準法では、2つの工法を許容している。一つ目は慣

例による工法で、壁の筋交いの量とその施工場所を事細やかに規定している。この工法は通常複雑でない建築物によく使用されており、基準法に定められている通り筋交い施工する限り建築はさほど困難ではない。

二つ目の工法は、ビルダーや建築設計士が耐力壁やランバーのグレードなどの構成物を性能計算して、最小限の基準法に準じる工法である。基準法はの場合最小限の強度を確保するアウトラインであり、建築物の建てられる地域などによって異なる耐震性を考慮する必要がある。

アメリカ西部の開拓精神は、短期間の間に多くの住宅を建築することにおいてその精神を大いに発揮したが、IBCやIRCは建築家やエンジニア、デザイナー、請負業者、政府機関など多くの知識が統合され、今では極めて複雑しかし精巧な内容となっている。ICCではこれらの基準法に関する情報提供などのサービスだけではなく、教育サポートやプロフェッショナル認定、評価サービス、信用サービス、テクニカルサポートなども提供しており、年間10万件もの基準法に関する問い合わせ対応を電話で行っている。ICCのホームページは[www.iccsafe.org](http://www.iccsafe.org)からアクセスできる。

住宅建材を専門とする信頼できるホールセラー (卸し売り) 会社

Western Pacific  
West Pac

ウエスタン パシフィック ビルディング マテリアルズ



ウエスタン パシフィック、より広いビルディングに移転!

2,900坪の倉庫にて4,000種類以上の建材の在庫と敏速な出荷。

- ・大手建材メーカーから直接購入出来る会社規模と購買力
- ・150名の社員からなる機動力
- ・自社内のドア吊り込みの機械にて、敏速なプレハングドアの出荷
- ・日本だけでなく、アメリカ国内のホームビルダーからも厚い信頼を得ており、毎年、アメリカ高級住宅展示会「ポートランド・ストリート オブ ドリーム」にも、資材を供給しております。
- ・日本との取引歴も長く、お客様との信用関係を重視しております。
- ・日本語の話せる社員が常勤

Western Pacific Building Materials, Inc.

2805 N.W. 31st Avenue, Portland, Oregon 97210 USA

電話番号: アメリカ 503-224-9142・FAX 番号: アメリカ 503-241-3858

Eメール: [westpac@yahoo.co.jp](mailto:westpac@yahoo.co.jp) 日本語/英語とも可

弊社の商品カタログを御希望の方は、会社名、住所、電話番号、ファックス番号を弊社にファックス又は、Eメールにてお送り下さい。

## 日本市場で成長を続けるジェルドウェン

ジェルドウェン社の販売するドアとウィンドウは、ここ20年来に亘って日本市場でも人気のある製品であったが、つい数年前まではその使用先は主に2×4工法住宅に限られていた。同社日本法人、ジェルドウェン・ジャパン社は、数年前に日本の静岡県において拠点を設立し、その製品サービスとサポートの提供を飛躍的に拡大した結果、同社のドア・窓製品を軸組工法の住宅や高層アパートなどの軽商業建築など、ほとんどの建築構造においても使用可能となり、また日本国内における製品サポートも受けられるようになった。

ジェルドウェン社は、6年前に東京郊外において営業所を開設し、直日本市場向けのビジネスを始めた。現在では、同社の日本オペレーションは東京都内の本部営業所に加えて3ヶ所の地方営業所と静岡県掛川市の工場・倉庫施設を新たに開設、合計45名の従業員を抱えるまでに成長した。ジェルドウェン・ジャパン(JWJ)社は2001年に株式会社として登記、1998年から日本市場を担当してきたジム・キャトー氏が同社のマネージング・ディレクターに就任した。



ジェネラルマネージャーのブルース・キリーン氏とマネージング・ディレクターのジム・キャトー氏（静岡県掛川市のジェルドウェンジャパン社にて）

キャトー氏は、「ジェルドウェン社の品質のよいドアと窓の製造拠点は米国を始め世界各地にあり、それらの立地を生かしたコスト効率の良い流通とサービスを日本のお客様に提供するため、ジェルドウェン・ジャパンを設立した」と語る。



幅広いスタイルのジェルドウェンドアが保管されている（掛川倉庫にて）

キャトー氏によると、同社の掛川工場は2003年に稼動を始め、今年末には製造工場としての機能を完全に兼ね備える予定。4,500平米の工場内では、外部ドアと室内ドアのプレハンク、室内ドアシステムのプレフィニッシュとミルワークパッケージ等の作業を行う。一年で55,000枚の室内ドアを取り扱えるが、今後数年の間には日本市場の動向や顧客の好みや需要に合わせて生産能力を拡大していく計画を立てている。ドアの工場に加えて、窓の物流センターでは、同社の幅広いサイズとデザインの樹脂窓が在庫されている。

またキャトー氏は、「ジェルドウェン・ジャ



常時国内在庫されているジェルドウェン樹脂窓（掛川倉庫にて）

パンでは、世界各地のジェルドウェン工場のネットワークを通じて、ドアや窓をコンテナで輸入しており、ドア1枚からコンテナ単位までどのような発注ボリュームでも対応することができる。国内在庫規格品の発注では、最短翌日から顧客の納品希望日に合わせての発送が可能。全ての発注は日本円で決済できるので、顧客はもう輸入手続きのトラブルやコンテナ積載量が資材で一杯になるまで輸送を見合わせるなどといったリスクを負うことがなくなる。」と強調した。

また同社では日本のビルディングシステムにカスタマイズされたローコスト・ハイクオリティ製品を提供することができる。30 mm 枠は在来工法でジェルドウェンドアを使用可能にするために開発されたもので、在来工法対応枠と金物とセットで販売している。アメリカからメトリックでカットされた資材を取り寄せ、掛川工場において在来工法で使用できるように日本規格サイズの枠とトリムに加工する。現在は納期が2週間かかっているプレフィニッシュドアも、人気ラインを完成品として在庫し将来は3日以内に短縮する。

外部ドアと室内ドアは、2×4と2×6の規格であればプレハンクし、そのままプレハンクまたはロックダウンで発送することができる。同社の調節可能ヒンジシステムで輸入ドアに日本のドア金物を使用することができるようになってきている。プレフィニッシュの段階では、ドア、枠、折れ戸とルーバードアの塗装を施し、ドア敷居、プレハンク、プレフィニッシュなど顧客の要望に応じたコンディションでの提供が可能。ドア廻りの造作材もヘムロック・ダグラスファー・メープル・オーク・アッシュなどを各種取り揃えている。

また同社では、保証クレームや技術的なアフターサービスなど販売後のサービス提供にも力を入れており、迅速な対応を期すためあらゆる交換部品を国内在庫している。サービスグループを掛川に配置、加えて関西地域と関東地域にサービスプロバイダー契約社員を置いている。全ての部材において迅速な保証サービスを提供するほか、ジェルドウェン製品以外の部材や保証期限の過ぎた部材に関して有償でのサービスも行っている。

日本の顧客の多くは、ジェルドウェンのジョイントベ



在来工法対応のドア枠と造作材製造の様子（ジェルドウェンジャパン工場）

ンチャー企業であるドアクラフトジャパン社と取引している。この企業は、2004年にジェルドウェン・ジャパン社に統合され、ドアクラフトジャパンという企業名では活動していないが、ジェルドウェン・ジャパン社では、この統合により工務店向けと流通卸向けの2つの営業部門をそれぞれ配置した。

全てのジェルドウェン製品は、この度新しく制定されたシックハウス対策の大臣認定を受けている。ファイバードアの1種類についてはF☆☆☆☆で、その他のドアはすべてF☆☆☆☆認定。

掛川施設ではCNCルーターやプレハンク設備、塗装施設が整っている。今後、塗装施設の拡大やCNCルーターの増設などを行っていく。

ジェルドウェンは、世界でも最大のドアと窓の製造会社で、本社はオレゴン州カラマス・フォールズにあり、23カ国に広がる150の製造施設で働く従業員数は20,000人を超える。効率の良い大量生産を目指しており、アジア圏のローコスト製品製造工場、北米やヨーロッパ圏の高品質ハンドクラフト製品製造工場から幅広い製品ラインを取り揃えている。効率良く大量生産するために、アジア圏の製造工場からはローコスト製品を、北米やヨーロッパ圏の製造工場からは高品質なハンドクラフト製品を幅広い製品ラインで提供している。数多くのスタンダードドア・窓製品ラインに加え、日本の大口の顧客にはカスタム仕様のOEM製造品を提供できる。

ジェルドウェンは、ウェスタンスタイル建築資材のコスト効率よい国内流通を先駆けて実現しており、今後も引き続き日本国内での設備投資・セールス拡大を推進し、日本市場へ世界最大のドア・窓製品ラインへのアクセスを提供していく。

メーカー直アウトレット価格の輸入建材なら、

[www.kenzaioutlet.com](http://www.kenzaioutlet.com)



**MK USA INC.™**  
A GLOBAL BUILDING PRODUCTS COMPANY

サイト上には  
限定セール品  
コーナーもあり!

お問い合わせや  
見積りは、田村まで  
お気軽にどうぞ

田村 玄太

Tel: 425-656-0417 FAX: 425-656-0418

Eメール: [mkusa2@msn.com](mailto:mkusa2@msn.com)

## 改正建築基準法の施行と米国建材メーカーの対応

シックハウス対策のための規制導入として改正建築基準法が平成15年年7月1日に施行されて以来、米国の企業でも大臣認定の取得に努めてきました。

ワシントン州内およびエバグリーン建築資材貿易振興会（EBPA）会員で平成16年9月1日現在、大臣認定取得済みの米国建材メーカーをご紹介します。（アルファベット順）

各メーカーのお問い合わせ先や詳細については、ワシントン州政府日本事務所までお問い合わせください。

### Bright Wood Corp./ブライト・ウッド・コーポレーション(室内ドア)

ルーバータイプ、パネルタイプなどの室内パインフォールドドアにおいて、国土交通省よりF☆☆☆☆の大臣認定を取得致しました。

### Buffelen Woodworking Company /バッファレン・ウッドワーキング(玄関・室内ドア)

当社の日本マーケット向けの本製ドアには、すべてフィンガージョイントソリッドの芯材を使用し、F☆☆☆☆にて大臣認定取得済み（平成16年1月9日）です。

### Canyon Creek Cabinet Company /キャニオンクリーク・キャビネット(キッチンキャビネット)

当社は、コーナーストーン（アメリカンフレームキャビネット）、ミレニア（ヨーロッパアンフレームレスキャビネット）の両構造にて、Raised, Recessed Panelの本製ドアに加え、シンプルかつモダンなデザイン性を幅広く演出出来るインプレッションシリーズ（ラミネート加工ドア）にて大臣認定申請中です。

### DeWils Industries /デュイルズ・インダストリーズ(キッチンキャビネット)

デュイルズインダストリーズの製品は2003年12月に国土交通省よりF☆☆☆☆の大臣認定を取得致しました。デュイルズはキャビネット製造において使用されるすべての部材を法改正に対応する為、対日向け製品において部材の仕様を変更するなどして認定及び、規制をクリア致しました。北米及びヨーロッパ系メーカーの中でキャビネットに使用される部材すべてに対応したメーカーは弊社が初めての取得で、日本のお客様にも安心してご使用頂けます。

### Fitts Industries, Inc. /フィッツ・インダストリーズ(階段)

当社の製品はハードウッド、ソフトウッドともにF☆☆☆☆にて大臣認定取得済み（平成15年11月14日）です。

### Jeld-Wen Japan Inc. /ジェルドウェンジャパン(玄関・室内ドア)

ジェルドウェン製品は、ファイバードア（エリート）を除く製品すべてにおい

て、F☆☆☆☆を取得しております。（エリートはF☆☆☆☆を取得）

### L.J. Smith Stair Systems /L.J.スミス・ステア・システムズ(階段)

L.J. スミス・ステア・システム（オハイオ州、

ボウワーストン市）は、同社の日本のディストリビューターとの協力により、踏み板（treads）・蹴込み板（risers）の「シックハウス」規制（ホルムアルデヒド対策）に基づく4☆☆☆☆大臣認定を取得しました。認定を受けた樹種は、日本で最も人気の高いレッドオーク、ヘムロック、ハード・メイプルを含みます。

### Simpson /シンプソン(玄関・室内ドア)

平成16年1月に大臣認定取得しております。ダグラスファー、ヘムロック、メイプル、アルダー、パイン等 通常使われる樹種を取得しております。但し、一部取得していないシリーズありますので御注意ください。

### South West Doors / サウスウエストドア(玄関・室内ドア)

無垢材を使った アンティーク調のドアです。大臣認定のための Pre-testは F☆☆☆☆で通過。ただいま最終認定をとる手続き中。

THE WORLD'S ONLY  
**FORMALDEHYDE-FREE**  
INSULATION. FOR PEOPLE WHO CARE.

**ホルムアルデヒドフリーのグラスウール断熱材**

ジョンズマンヴィル（JM）のグラスウール断熱材は世界唯一のホルムアルデヒドフリーのグラスウール断熱材（F☆☆☆☆の認定）の製品です。

BMD は JM との同意によりこのホルムアルデヒドフリーのグラスウール断熱材（F☆☆☆☆の認定）の製品を日本の皆様にご紹介させていただきたいと思っております。

BMD では全てのジョンズマンヴィル（JM）のグラスウール断熱材をストックしております。

この製品についてのお問い合わせは下記の通りです；

**BMD** インターナショナルセールス部門  
電話番号：209-744-4449  
ファックス番号：209-745-2663  
E-mail: [htripp@bmdusa.com](mailto:htripp@bmdusa.com)

**BMD**  
Building Material Distributors, Inc.  
An Employee Owned Company  
[www.bmdusa.com](http://www.bmdusa.com)

Smart Ideas. Better Insulation. **JM**  
Johns-Manville

# Professional View プロフェッショナル・ビュー

## ティンバーフレーム工法という選択

シアトル西部にあるポートタウンセンドで大工をしていたランダウ家のチャールズとジュディスは、1978年新しい建築分野に参入することを決意し、ティンバークラフト・ホームズ社を設立しました。オレゴン西部のダグラスファーやポートオーフォードシーダー（ベイヒ）などの北西部の通直な木目の樹種木材を使用した歴史を感じさせる住宅の建築を目指しています。ランダウ家の二人は、梁の美しさばかりでなく、その数百年という耐久性や貴重な木材に敬意を払って最大限有効に使う工法に惹かれ、ティンバーフレーミングを取り入れることにしました。

ティンバーフレーム工法は、木の柱と梁で構成され、それらをほぞ組みし木栓で固定する工法です。ティンバー工法は日本でも古くは6世紀頃から取り入れられている工法で、ヨーロッパやアメリカでも産業革命までは木造建築工法の基本とされてきました。19世紀頃には、ランバー工場や鉄工所でも新しい建築工法に移行したディメンションランバーや金物を生産するようになりました。“スティック・フレーミング”工法と呼ばれた新しい建築工法では、多くの大工が高度な技術を必要とせず短期間で建築資材を組み立てることができるようになり、米国西部への集団移住に伴って新しい街が今までにないスピードで次々と建てられていきました。そして50年後には、ティンバーフレーミングの熟練した大工は、アメリカには居なくなっていました。

ランダウ家の二人が小さな建築請負業から現在の年間売上高33億円のティンバーフレームデザイン/工場へと成長を遂げるまでには厳しい道のりがありました。西海岸では最初のティンバーフレーム会社だったので、ティンバークラフト社はまず公共への教育から始めなければなりません。ランダウ氏が“ティンバーフレーム”と言うと、多くの人にはログキャビンを連想させ、誰もアーチ形の屋根を持った美しいデザインの高品質な木造住宅とは思いませんでした。ランダウ家の二人はもっとティンバークラフト社を良く知ってもらおうとセミナーや教室を開き、数百もの記事を書きました。今や“新しい”と呼ぶべきこの工法を認知させるための様々な苦悩を伴う努力の甲斐あって、ランダウ氏がデザイン・建築した幾つものティンバーフレーム住宅が



中庭から見たリビングルーム (香岐島の住宅-グローバルトレック社 Bob Yamazaki設計・建築)



"Arts & Crafts (芸術と技巧)"スタイルのティンバーフレーム住宅 玄関 (ワシントン州バインブリッジ)

国際的に認知され始め、ティンバークラフト社の数々の建築プロジェクトが多数の雑誌や新聞に取り上げられました。次第に受注件数も増え、米国北西部からだけではなく全米各地やカナダ、日本からも発注されるようになりました。



"Arts & Crafts (芸術と技巧)"スタイルのティンバーフレーム住宅 リビングルーム (ワシントン州バインブリッジ)



"Arts & Crafts (芸術と技巧)"スタイルのティンバーフレーム住宅 2階ギャザリングルーム (ワシントン州バインブリッジ)

1988年、ティンバークラフト社に日本の住宅建設会社からのアプローチがあり、日本での“アーリーアメリカン”スタイルのモデルハウス建設が実現しました。ランダウ家の二人は、デザイン、生産、ティンバーフレームの組み立てや壁パネルシステムを日本の住宅建築会社と協力し、東京都に3000平方フィート（約278㎡）のモデルハウスを建築しました。以後もティンバークラフト社は数社の日本企業とのパートナーシップにより、日本各地においてユニークで個性あふれるティンバークラフト住宅や公共施設のデザイン・建築を手がけ、いずれも成功しています。

1990年にティンバー工場の生産工程をコントロールするコンピューターが開発されると、ティンバークラフト社は米国西海岸のティンバーフレーミング会社では初めて新しいほぞ加工機械設備を採用しました。新しい生産工場とCNC機器の導入で、ティンバークラフト社の生産能力は以前の3倍になり、現在では2工場で働く職工従業員は25名になりました。現代のティンバーフレームは伝統的な木工技術とコンピューターでの生産管理設備との融合で生まれています。

ティンバーフレームの構造デザインとエンジニアリングにおいて約30年近くに亘る経験と知識は、あらゆる建築家やビルダーにとって大変貴重な情報源となっています。ティンバークラフト社のデザイナーはオートCADソリューションと3Dコンピューターモデリングに精通しており、プレゼンテーション（提案書）はあらゆるフォーマットで作られます。プロジェクト情報も電子メールを使い他のデザイナーやエンジニアへ簡単に送ることができます。

ティンバークラフト社の創造的で責任あるスタッフと最新のテクノロジーは、デザインと

生産の双方において、その会社方針の責任に  
 応えるものです。

“思慮深いクラフトマンシップと未来のテクノロジーを融合させた耐久性の高い構造を提供し、生活の質を高めること”

ティンバークラフト社の建築プロジェクトは  
 ウェブサイトでもご覧になれます。

www.timbercraft.com.



東京都で建てられたティンバーフレームのモデルハウス "New England Classic"



"New England Classic" 竣工



福岡県で建てられた幼稚園・小学校



母校建設現場で職人の作業を見守る児童たち



アメリカ人と日本人の職人たち (香岐島のティンバークラフト建設現場にて)

## アメリカの住宅に学ぶトータルコーディネートの考え方

アームストロング・ランバー株式会社  
国際事業部 清水 康江

創業1952年のアームストロング社は「ホームづくり」をモットーに世界各地にハウスパッケージ及び内装部材を輸出している。シアトル郊外に位置する本社には、壁パネル工場とトラス工場のほかに造作材工場を持ち、スプレーできめ細かく、樹種によるバラつきを抑えて仕上げたドアやモール材は日本でも高く評価されている。ステイン色で標準24色、ペンキ仕上げでは2000色以上の色から塗装色を選ぶことができ、「トータルコーディネート」として、家具や内装全体の色の調和をとることができる。

2709 Auburn Way North, Auburn, WA 98002  
Tel: 001-0101-253-833-6666 内線317



毎年夏にシアトルとポートランド（2004年はポートランドのみ）で開催されるストリート・オブ・ドリームス（以下SOD）には、近年日本からも多数の方々が訪れるようになりました。毎年異なったコミュニティにおいて、アメ



屋根裏を自分の趣味の空間に。「アート」をテーマに家全体もトータルコーディネートしている

リカでも有数の

ピルダが各々

のテーマに基づきデザインを提案するSODでは、その美しい外観はもとより、新製品と定番商品を見事に組み合わせながら、テーマに沿って完璧にコーディネートした内部インテリアが毎年話題をよんでいます。しかし、内部のトータルコーディネートという考えは、SODに限ったことではありません。

アメリカなら、どの住宅展示場を訪れても、内部のインテリアは何かのテーマに沿ってトータルコーディネートされており、訪れる人は、各々自分の趣味や将来像を思い浮かべながら見学できるようになっています。

アメリカの住宅産業では、部材個々の機能よりも、むしろ見た目の雰囲気、感覚から捉える使い勝手等、その住宅を購入することで得られる快適なライフスタイルを営業の売りとしています。そのことから、アメリカの住宅展示場でも、来訪者が具体的に生活をイメージでき、家具の配置によって、間取りの利点や個性、快適性を実感できる内部のトータルコーディネートが、営業における最も重要なポイントともなっているのです。

アメリカでは、快適なライフスタイルを想像させる「住まい勝手」こそ、住宅購入のポイントとなります。ダイニングテーブルは入るのか、ベッドは、机は・・・見取り図では間取りや広さは確認できたとしても、動線は確保できるのか、使い勝手はどうかなどは実感できません。住宅の購入を検討する生活者は、住宅という箱を買うのではなく、そこで繰り広げられる新しいライフスタイルを求めていると考えられるのです。

お客様は、住宅の購入や新築を機会に、豊かさや楽しさ、快適さや健康といった生活の実現を求めます。それら暮らし上の要望や要求は、住居としての建築だけでは伝わりません。家具や小物でインテリアを設えることによって、生活間を実感し体験してもらい、内部の仕上げをトータルに設えることによって、新しい住まいへの夢を膨らませてくれます。インテリアは、単に空間をきれいに見せるのではなく、生活シーンから生活環境を創

造させる力をもっているのです。

### モデルルーム部屋別コーディネート例

ここでは、アメリカにおける住宅展示場のトータルコーディネートの例として、ワシントン州シアトル近郊にて2004年7月～8月にかけて開催された「Quality Street Showcase of Exceptional Homes」から、キッチン・ダイニング・リビングの最新のコーディネートの動向をご紹介します。

#### キッチン 例①



モダンな雰囲気のデザインで統一された物件では、キッチンも最近の流行として多く見られるクロームとステンレスを組み合わせています。冷たい印象になりがちなステンレスの材質を考え、贈明はダウンライトを多く使用し、明るく穏やかなイメージに調整しています。アイランドキッチンに置かれたバーチャアも、他のキッチン全体の雰囲気に合わせて、フレームはステンレス、座面は濃い色のフアブリックを使用しています。

#### キッチン 例②

キッチンは食器や料理用器具、シルバーウェアなど、大きさが揃わない小物がたくさん溢れています。「人目につくと見た目が悪い」とキャビネットの収納スペースを多くし、「隠す」ことに努力するのが一般的ですが、この物件ではキッチンのカウンター、それもリビング側に収納用の棚を設け、あえて「見せる」ことを主張しています。棚の中には、色とりどりでもスタイリッシュな食器や小物がバランスよく整理されています。



#### リビングルーム 例①

トラディショナル調の家具で統一されたこの物件は、巾木や廻り縁などは全て濃い色でステイン塗装を施すことによって、アクセントカラーとなる赤やオフホワイト色の基調色と

して落ち着いた印象を与えています。家具は全てシンプルなデザインを使用していることから、キッチンとの間仕切りとして置かれたスクリーンはデザイン性の高いものを使用し、空間全体をうまく調和させているほか、家具全体の装飾性を高める効果を持っています。



#### リビングルーム 例②

シンプルな雰囲気を持つリビングのコーディネートは、壁とモール材の色に合わせて白に塗装された暖炉キャビネット



がリビングの中心になっています。暖炉の両脇に大きな窓を置くことで窓の外に広がる四季折々の生活を楽しむ、ゆとりのある生活をイメージさせています。また、自然の採光を取り入れることができるので、照明はあえて多くはつけていません。ソファの色も白いモール材にうまくなじむようなベージュ系を選ぶことで、家族や友人が集った際にも長時間いても飽きのこない穏やかな印象に仕上がっています。

#### ダイニングルーム 例①

玄関の扉を開けると、すぐ隣に広がるダイニングスペースは、その空間だけで絵になるような美しい配色が施されています。



この空間の鍵となる色は赤。能動的な色-赤が訪れた人の積極的な気持ちを喚起します。ダイニング奥の淡い緑の壁、テーブルに飾られた大胆なグリーングラデーショで構成したバランスの良い配色が効いています。

#### ダイニングルーム 例②

壁全体に角度をつけてデザインされた窓を中心に、天井にも丸くサークルをつけ、スペース全体を丸型にしています。サークルからぶら下がった照明の下には丸いガラスのダイニングテーブルを置くことで全体の調和をとっています。



このように、室内インテリアに求められるイメージ（スタイル）に対する嗜好が、個性に応じて大きく多様化する傾向にある今日、家具や小物だけでなくインテリアの基本構成部材である内装部材についても、そのスタイルを構成すべき特性が求められつつあります。特性にも、ステンレスや木製、フアブリックなどの素材、木製であればオークやハムロッ

ク、パイン材などの樹種、能動的印象を与える赤や黒と、それと対象色となる白や緑等の色が与えるイメージなど、様々な要素が含まれています。例えば、樹種が異なるオークの床材とヘムロック製モール材の組み合わせでは、同色に塗装して統一させることも、全く異なったステイン色で仕上げてもどちらかをアクセントにさせる組み合わせも可能です。階段では白いペンキ塗りの子柱にレールと親柱は濃いステイン色で塗装する組み合わせや、がっしりとした親柱に細くデザインの凝ったアイアンの子柱を使う組み合わせなど、現在ではスタイルそのものを多様なメニューの中から選択し、ユーザー自身の嗜好に合わせて部材から家具に至るまでをトータルにコーディネートする時代が訪れつつあると言えるでしょう。したがって、階段、窓枠、床、ドア、巾木などの内装部材についても、好みのインテリアスタイルが決定された後に、それに適合する特性を有する部材が選択されるべきです。

トータルコーディネートの基本は、まず「イメージを明確にする」ことにあります。階段、窓枠、床、ドア、巾木などの内装材の選択、家具の配置から、照明の工夫に至るまで、内部仕上げをトータルにデザインする上で、どのような「イメージ」を念頭に置くかを決めることが、トータルコーディネートの第一歩ともいえるでしょう。では実際に、どのように「イメージ」を決定すればよいのでしょうか。

イメージの表現はいろいろありますが、まず家具や内装材を選ぶにあたり、全体の持つ雰囲気を一掃させるため、インテリアにテーマを持たせることが基本となるでしょう。そのインテリアのテーマとして、ここでは「モダンカジュアル」、「トラディショナル」、「アンティーク・カントリー」の3つのスタイルを例として挙げ、アメリカのトータルコーディネートの基本をご紹介します。

**スタイル例① モダンカジュアル**  
**<シンプルながら機能的な現代的イメージ>**



白、黒、赤を組み合わせたベッドルーム。左右のバランスも考慮されてコーディネートされている

デザインはシンプルで幾何学的。無駄なものをおかないので住む人の生活が際立つ、クロム、ガラス、ステンレス、大理石など、ハードなテクスチャーのインテリアがほどよくマッチ。色も少なめでグレー系、無彩色が基調となります。

**\* 内装選びのポイント**

壁は白かグレーが基本で、巾木やケーシング等のモール材は白のペンキ塗りで統一します。廻り縁はシンプルな印象を強調するのであれば敢えて避ける場合も多く、付ける場合も、それだけで



白とクロムを基調にしたキッチン、大理石と照明によって優しい雰囲気になる

存在感が大きくなってしまふようなデザインは避けた方が良いでしょう。窓廻りは4方枠のケーシングを他のモール材と合わせて白のペンキで仕上げるか、ドライウォールを巻き込む方法も可能です。ドアは2パネル、4パネル、6パネルなど様々なデザインのハードボード製ドアが流通していますので、どれか1つまたは2つのデザインに絞ってデザインを統一しましょう。また、ドアに付随するハードウェアは光沢のないクロム系がシンプルな内装材には良く似合います。ドアノブもデザインは多くありますので、シンプルながらシャープなイメージのものを選ぶと部屋全体の雰囲気を向上させてくれることでしょう。キッチンの面材もドアやハードウェアのデザインを考慮した上で選べば失敗ありません。

**スタイル例② トラディショナル**  
**<欧米の伝統的なスタイルをベースにした優雅なイメージ>**

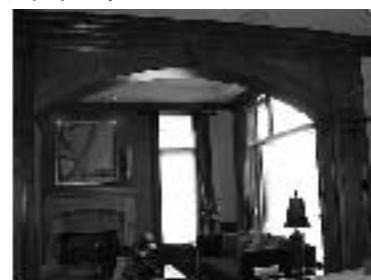


重厚感のある家具に深紅のソファの組み合わせ。全体的にダークトーンに抑えながらもテーブルランプのデザインを揃えるなど細部にまでこだわっている

デザインは装飾的かつ古典的で、ヨーロッパの伝統的な、クラシカルでどっしりとした重厚感のあるインテリアスタイル。細部までこだわったディテールが、格調高く優雅な印象を与え、住む人のこだわりを伝えるスタイルですので、基調色は深紅や濃緑色など格調あるダークトーンがお勧めです。家具は、ウォールナットやチェリー等、ヨーロッパの伝統的な様式を受け継いだ家具。スタンドライトなどの照明や、ヨーロピアンスタイルの上質な小物などを使った装飾が効果的です。

**\* 内装選びのポイント**

壁は単色の濃い色を使い、天井に廻り縁を施します。腰板の使い方によっても部屋の雰囲気が大きく変わります。



モール材は素材自体に模様のある、凝ったデザインを選び、アクセントカラーになる濃赤や深緑などに合う深みの帯びたステイン色で仕上げます。窓は内側が木製のものを使用するか、樹脂製の窓を使用している窓枠ライナーを付けて4方枠をモール材のケーシングで囲んで、巾木や廻り縁のモール材と塗装色を同じにすると、部屋全体の色が、まるで備え付けの家具のように調和します。もちろん、ステイン塗装の色選びは家具やフローリングの色ともバランスを考えましょう。ドアは6パネル等の無垢のタイプが基本で、リビングの入り口など間取りのメインとなる部分にはフレンチドアや変わったデザインの無垢ドアを入れると豪華なイメージを加えることでしょう。濃い色が多くなるため、間取りが狭く感じたり、圧迫感を覚えてしまうケースもあります。そのような場合は、オープン設計にできるダイニングとリビング間はドア

を付けずに開口のみにして、開口部にデザイン性の高い飾り枠を持ってくるのも一つの工夫です。

**スタイル例③ アンティークカントリー**  
**<歴史を経て褪せることのない自然で素朴なイメージ>**



温もりがありナチュラルな雰囲気を漂わせるカントリーの雰囲気

自然の温もりがありナチュラルで気持ちのいい、どこかヨーロッパの片田舎の懐かしい雰囲気の薫るカントリースタイル。都会での暮らしの中に自然素材の家具や、ナチュラルで優しい印象の雑貨をコーディネートして居心地の良い雰囲気に。素朴な風合いに寛ぎ感があり、世代を問わず人気があります。素朴だけれど味わい深いカントリーテイストの雑貨をコーディネートして部屋にアクセントをつけると効果的です。

**\* 内装選びのポイント**

モール材はナチュラル系のステイン色を選び、基本的なインテリアの枠組みはあくまで自然な味わいに統一させましょう。アンティーク・カントリーのコーディネートでは、素朴な雰囲気の中に、キッチンやドアは凝ったデザインを置くことで味わいがぐっと増します。コーディネートを考えるにあたっては、ラスティック・ノットティー・パインなどの凝った素材を使ったキッチンの面材やドアを使うなど、どの部分でアンティーク・カントリーを表現するのかわかりやすいポイントを置いて、こだわりを追求する方法もありますし、ノブなどのハードウェアはアンティーク・ブラスを贅沢に使うことでアンティークらしく見せることができます。床材はナチュラル系の色を選ぶことで全体に馴染みますが、素材を変えて竹のフローリングを使ってみたり、ワックス仕上げを敢えて選び、表面をアンティーク仕上げにしてみるのも雰囲気を出すひとつのアイデアとなるでしょう。



キャビネットの面材はコテージ(山小屋)風を使い、塗装色でうまくアンティークらしさを演出

上記ではアメリカの住宅展示場を例にトータルコーディネートの動向をご紹介しますが、内部仕上げのコーディネートは決して輸入住宅に限ったことではありません。内装仕上げ材をトータルコーディネートすることは、在来工法の住宅や、リフォームの物件であっても十分活用することができます。その際には、在来工法であっても構造のみ在来で内部は輸入住宅風に仕上げることも可能ですし、日本古来の様式を保ちながらも無垢のドアや床材を使用し和洋折衷式に仕上げることもできます。どのようなスタイルの住宅であったとしても、必ずどこかに個人が持つキャラクターを活かしたトータルコーディネートをすることで、それが新築であってもリフォームであっても、成功するプロジェクトとなるでしょう。

上記ではアメリカの住宅展示場を例にトータルコーディネートの動向をご紹介しますが、内部仕上げのコーディネートは決して輸入住宅に限ったことではありません。内装仕上げ材をトータルコーディネートすることは、在来工法の住宅や、リフォームの物件であっても十分活用することができます。その際には、在来工法であっても構造のみ在来で内部は輸入住宅風に仕上げることも可能ですし、日本古来の様式を保ちながらも無垢のドアや床材を使用し和洋折衷式に仕上げることもできます。どのようなスタイルの住宅であったとしても、必ずどこかに個人が持つキャラクターを活かしたトータルコーディネートをすることで、それが新築であってもリフォームであっても、成功するプロジェクトとなるでしょう。

# 米桐ムク材のF☆☆☆☆認定ドアを 特別価格+海上運賃無料サービス!

バックリムの「お薦め輸入建材+エスパー便」お試しキャンペーン期間：2004年7月5日～12月30日

**Buffelen**  
Since 1913

#66 インテリア・ドア 2668

バックリム  
限定  
特別価格

**\$110**

横浜港 (I.W.S. 倉庫) 引渡し価格

上記製品代他、通関諸費用(ドア1台当り¥800  
プレハング・ドアの場合 ¥1,000/セット)並びに、  
輸入消費税が別途費用として発生いたします。

エスパー便  
無料  
海上運賃

**\$0** シアトル ▶ 横浜港  
**海上運賃無料**  
エスパー定期便でスピード納品

海上運賃(エスパー便にて横浜港着)無料サービスは、  
キャンペーン期間中のお客様1社当りの通算積載量  
10m<sup>3</sup>(ドア 約130本分)を上限とさせていただきます。

**¥** 日本円で比べると?  
直輸入のメリットをお確かめ下さい

為替レート \$1.00 = ¥110の場合  
ドア製品代: \$110 × ¥110 = ¥12,100  
通関諸費用: ¥800 / 1台 = ¥800  
**ドア1台当り価格(税別) = ¥12,900**  
\*円ドル為替レートは変動しますのでご注意ください。



バッファレン製品ラインアップは、<http://www.buffelendoor.com> でご覧頂けます。

## バッファレン製/米桐(ヘム) #66 室内ドア (MADE IN USA)

仕様 ● Hem-Fir (米ツガ材) 無塗装・黒・3/4" (19mm)レイズドパネル・ドア金具用穴&ヒンジ座彫り/未加工  
サイズ ● w=2'-0" (610mm) 2'-2" (660mm) 2'-4" (711mm) 2'-6" (762mm) 2'-8" (813mm) 3'-0" (914mm)  
h=6'-8" (2032mm) 全サイズ共通 \*ドア厚=1-3/8" (35mm) 全サイズ共通  
認定 ● ホルムアルデヒド発散区分F☆☆☆☆等級 国土交通省認定

### オプション仕様

ドア3方枠セット (\$37.50) ●ヘム材・無塗装 w=4-9/16" (116mm) 3方枠(戸当り付)・US-3ドアヒンジ x 2 pcs  
プレハング仕様 (\$203.50) ●#66 室内ドア 2668 (762 x 2032mm) + ドア枠 (W/116mm) + US3ヒンジ (吊り込み済み)  
塗装仕上げ仕様 (\$267.17) ●#66 室内ドア 2668 (762 x 2032mm) 塗装仕上げ品 (ステイン仕上げ)

WE MAKE FRIENDS WITH EVERY SALE.  
**PAC-RIM  
BUILDING  
SUPPLY, INC.**  
<http://www.pacrimbuilding.com>

本物の品質をUS国内並みの価格でお試し頂けるこの機会を是非ともお見逃しなく!

どうぞお気軽に日本の建築用語で  
お気軽に右記までお問い合わせ下さい。  
日本時間と-14hの時差がありますので  
ご連絡は FAX・E-mailが便利です。

TEL ★ 国際電話 +1-425-251-3700  
FAX ★ 国際電話 +1-425-251-0334  
E-mail ★ [sales@pacrimbuilding.com](mailto:sales@pacrimbuilding.com)  
担当 ★ 秋田 二郎 Jiro Akita

# 魅惑の木製ドア



4683



6404



4390

1912年の創業以来、シンプソン社は高品質の木製ドアをデザイン、製造し、世界中お客様に提供して参りました。

日本でも、シンプソン社のドアは、その自然な美しさと性能で高い評価を得ております。

当社の魅力あふれるドアのお問い合わせはファックスにて下記番号へご連絡ください。

**Simpson**<sup>®</sup>

**M·A·S·T·E·R·M·A·R·K**<sup>®</sup>  
HANDCRAFTED DOORS FOR AMERICA'S FINE HOMES

[www.simpsondoor.com](http://www.simpsondoor.com)  
**1-360-495-3291**

(1ページからつづく)

今年の来場者は10万人近くに上り、その90%は一般消費者、10%がビルダーとなっています。エバグリーン建築資材貿易振興会(EBPA)は8月30日と31日の両日、夏季住宅視察ツアーを開催、日本から21名のビルダー、建築士やデザイナー等と共にポートランドストリートオブドリームズを訪れました。



『ミラクルハウス』

『ミラクルハウス』、もう一つは『ヒデン・レイク・ロッジ』で、最高賞であるベスト・オブ・ショーを含め数多くのカテゴリー賞を受賞した。審査は地域の建築家・ビルダーやインテリアデザイ



『ハイド・アウェイ』

ストリートオブドリームズ授賞者発表は9月始めに行われ、2つの住宅が多く票を集めて殆どの賞を受賞しました。一つは『グレート・リトリート』、もう一つは『ヒデン・レイク・ロッジ』



『ミラクルハウス』は田舎スタイルのキッチン

ナーなどの業界団体の代表者から構成された専門家グループや不動産業者グループ、一般来場者の投票の3つの審査グループで受賞作品が選ばれました。

### ストリートオブドリームズ2004 受賞作品

#### ベスト・アーキテクチュラル・デザイン賞

『グレート・リトリート』 KDC コンストラクション社

#### ベスト・キッチン賞

『グレート・リトリート』 KDC コンストラクション社

#### ベスト・ランドスケープ賞

- ・不動産業者グループ賞：『グレート・リトリート』 KDC コンストラクション社
- ・専門家グループ賞：『ヒデン・レイク・ロッジ』 Skreen コンストラクション社
- ・来場者人気投票：『ヒデン・レイク・ロッジ』 Skreen コンストラクション社

ジ』 Skreen コンストラクション社

#### ベスト・インテリアデコレーティング賞

- ・不動産業者グループ賞：『レイクウッド・マナー』 Haggart コンストラクション社
- ・専門家グループ賞：『コスモポリタン』 Aspen リーフ社

#### ベスト・ホームファニッシング賞

- ・不動産業者グループ賞：『グレート・リトリート』 KDC コンストラクション社
- ・専門家グループ賞：『コスモポリタン』 Aspen リーフ社

#### ベスト・マスター・スイート賞

『グレート・リトリート』 KDC コンストラクション社

#### ベスト・オブ・ショー大賞

- ・不動産業者グループ賞：『グレート・リトリート』 KDC コンストラクション社
- ・専門家グループ賞：『グレート・リトリート』 KDC コンストラクション社
- ・来場者人気投票：『ヒデン・レイク・ロッジ』 Skreen コンストラクション社



『リフレクション・オブ・ネイチャー』

(1ページからつづく)

シンプルハウスと言いましても外観は普通の住宅とまったく同じです。建築の詳細は一般的に使われているものとは違いますが、決して極端に違うというわけではありません。ここに紹介するそれぞれの技術は、意思があれば一般のビルダーの方々にも導入可能なものです。ここでご紹介しますグリーン・ビルディングのポイントは以下の通りとなります。

1. 非常に高い断熱性－エネルギー消費量は基準により定められた性能数値を大幅に下回ります。
2. パッシブソーラー（太陽熱利用）－太陽エネルギーを最大限に活用しています。
3. ヘルシーハウス－EPA(環境保護局)により提案された健康的な住宅に関する基準に可能な限り従順しています。
4. 大きすぎず適度なサイズ－平均の住宅より比較的小さめです。
5. 美的価値－この家は外観も美しく、また快適に過ごせるようにデザインされています。

## エネルギーの効率的な利用

### 壁構造

壁構造の厚みは9インチ(225 mm)で、R値(断熱効果値)は33です。断熱材には、BIBファイバーグラス(繊維ガラス)に比べてR値が少し高いセルロースを使用することで、さらに高い断熱効果を上げています。フレーミングには2×4スタッドを50mmの間隔をおいて挟み込む二重壁構造(Double Wall System)を取り入れています。

### 床(フローアー)

床は2×8材によるジョイストからなり、R値35/インチの断熱材セルロースを使い、床全体としてはR-43の断熱効果となります。

### 屋根構造

12インチ(300 mm)厚さの構造用断熱パネル(SIP)を使用し断熱効果R値48となります。当初は、2階の床下(12インチTGIと予想されていたもの)を断熱する予定でしたが、屋根裏部屋にある窓の下にオフィス・スペースを設けるには、12インチの厚さでR値約48の構造用断熱パネルの屋根を用いる提案がありました。また、屋根に直面する床下よりも、屋根自体が大きい面積に広がるため(また9/12ピッチの屋根にしたため一層に広い面積になります)表面積をいくらか大きく取るようにしました。

### 窓

3重ガラスと断熱フレームで断熱U値20です。この十数年間、残念ながら窓のメーカー業界はエネルギー面であまり前進していません。2重ガラス、Low-EコーティングとR値約3のアルゴンガス詰めが未だに標準とされています。私たちはこの条件以上の質を求めていました。結果として、三重ガラスで断熱材のある枠組み(枠組みは窓の断熱には非常に重要な部分です)を提供しているメーカーから仕入れました。

### パッシブソーラー(太陽熱利用)

パッシブソーラーは予備ヒーターの目的のみで使用します。パッシブソーラーの設計により冬季に太陽熱を通し、夏季には熱を遮断して、昼間の熱を貯蔵することで夜間にその熱を利用します。建物の南側に多くの窓を設けました。夏季にはこれらの窓の上部に日よけを設け熱を遮断します。夜間あるいは雲の多い日などに保温できるよう熱を確保します。

### 外気の侵入と換気

建物の隙間、開口部などから外部の空気が侵入することが、建物の熱損失の最大の原因と言わ

れています。ビルダーは多くの経験により、最低0.1ACHか、せめて0.2ACHまでは低くすることが可能であると判断します。これは約25-50CFMの換気に相当しますが、それは天候により大きく左右されます。この数字は多くの場合目標とされる0.35ACHよりもわずかながら好ましいと思われま。この低レベルの自然換気により十分に新鮮な空気が提供されないことがあるため、熱交換機で機械による換気システムも導入いたしました。これにより、日中起動させている時間数により、平均25-150CFMの換気を追加することができます。

### 電気機器

エネルギーを効率的に利用する家庭用電気機器の市場は存在しますが、メーカーや消費者にとってこれら機器の効率性をもっとも重要なことではないようです。効率的な電気器具に関する情報はwww.energystar.govのホームページで入手することができます。エネルギーを大きく消費する電気設備として、冷蔵庫、洗濯物の量によっては洗濯機/乾燥機、食器洗い/乾燥機(使用頻度によります)などが挙げられます。エネルギー消費に関する評価だけでなく、洗濯機や食器洗い機については使用水量に関する評価も最近追加して掲載され始めています。

### 照明器具

電気器具については、節電するための最適な方法として、昼光照明をうまく利用し電気器具を適切な場所に置いて正しい電力量を使用することで、読書やその他の細かな作業を行う場合には、部屋のあらゆる場所で読めるように部屋全体に明るい照明を当てるのではなく、小さな面積に照明を当てるライティングが使用されるべきです。

### HVAC

標準的な暖房システムは、非常に高い断熱仕様

(10ページからつづく)

の住宅に必要とされる以上の熱を供給できるように設計されています。そのため標準的な暖房システムは導入せずにファン・コイル式・システムを使用しました。このシステムでは、換気システム及び熱の供給にダクトを使用しました。

**アクティブ・ソーラー**

屋根に太陽熱収集機器を設置し可能な限りこの熱で温水を生むようにしました。涼しく雲の多い気候が多いシアトルですので効果的真空チューブを太陽熱収集機器に使用しました。このシステムにより冬季で毎時間7ガロン、夏季で毎時間25ガロンの温水を生み出します。

**構造用資材**

フライアッシュコンクリート — コンクリートの使用を軽減するためフライアッシュ\*をコンクリートに混合して使います。実際にはすべての壁について43%の混合、舗装には25%の混合を使用しました。\*ボイラーで微粉炭燃焼後に出される副産物。

**森林管理協議会認定 (FSC) のランバー材— 建物全体に使用しました。**

FSC認定の材木を購入することで、私どもは認定されていない商品よりも認定されている方を好むという意見を主張することができますが、その選択にはそれなりの費用もかかります。入手できるFSC認定の材木の数には限りがあり、大抵の場合、同一コストで入手できますが、時には価格が極端に高い(約3倍)こともあります。少ないコストで可能な限り多くのFSC認定材木を利用することを念頭においています。

**構造用断熱パネル— 天井材に使用しました。**

このタイプの構造パネルは、通常、表面パネルのOSBと芯部分のFPS(発泡ポリスチレン)フォームで構成されています。高い断熱性能、構造強度が特徴です。



SIP断熱構造パネル

再生された2×4材— フレーム材に使用しました。

ファイバーセメント製サイディング (Hardi-Plank) — 雨水浸入防止のためのレイン・スクリーン・ストリップ材を外壁構造へ取り入れカビの発生や破損を防ぎます。この施工方法は高気密・工断熱の住宅には特に重要と考えます。すべての窓にはステンレス製のシルパン(水切り)を施工し窓製品の底辺(シル部)から構造体への雨水侵入を防ぎます。窓トリムはすべてメタルクラッド仕様です。

セルローズ断熱材— セルローズの利点は100%が再利用され、ファイバーグラスよりも1インチごとのR値が少々高く、高密度なためそのままの状態でも空気漏れが非常に少ないということです。ホウ酸塩(ボーレイツ)には防火、防虫の効果があります。

屋根材 — 本来は、リサイクル可能のためスチール製を予定していました。しかしより経済的なコンポジション(合成材)を使用しました。

配管パイプ — PEXタイプを使用しました。比較的価格であることから、PEXタイプのパイプは配管業界市場での主流になりつつあります。

**材木の再利用について**

再利用される材木には様々なサイズや種類が多く揃えられています。再利用された材木を選ぶポイントは、実際にその材木が使用できる状態になるまでにどれくらいのプロセスが必要であるかどうかということです。既に使用できる状態にある場合もあり(例:フローリング)、また様々な作業を行ってからのみ使用できるものもあります。

フローリングの材木は、最も一般的でまた簡単に使用できる部材です。既存のフローリングであったり、更に大きいビームから製材されたばかりであることが多いようです。最悪の場合だと、釘など、またその他の外部材を取り除き、また、ボード同士が正確にきちんとフィットするために、余分の仕上げ材を端から取りのぞく必要があります。比較的簡単な作業ですが、それでも時間のかかる作業です。

再利用するデメンションランバー材も用意でき、フレーミングを目的として使用される場合は、大半の釘を取り除くだけで利用することが出来ます。フィニッシュ用材木として使用される場合は、更なる作業が必要となります。多くの場合、大きな材木(古い倉庫、線路の架台など)から特注で製材された材木が入手され、これらは釘もなく表面も非常に平らで使用しやすいと思われま。しかし、グレードによっては、多くの節、ひび割れ、釘やボルトの穴、その他の問題が見られます。これらの問題があるにも関わらず、材木は一般的に美しく、多くの場合、今ではもう入手不可能とされる(入手不可能であるべき)非常に古く大きな木を資源とするものが多いということが大きな利点です。

**仕上げ材**



2階の個人オフィス。ドアなどリサイクル資材を使用している。

森林管理協議会認定 (FSC) マドローン材— マドローン材(樹種)は太平洋側北西部を産地とし、チェリーに良く似て非常に美しい材木を利用です。住宅ではリビングルームに床材として使いました。

フローリングの再利用— この家は約20平方メートルの床材に再利用のオークを使用しました。

キャビネット— 森林管理協議会認定 (FSC) のチェリーによるカスタム・メイドです。

シーザーストーン/サイルストーン— このカウンタートップ用の資材は、94%の水晶の



小さいがスペース効率の良いキッチン。サスティナブル森林から伐採されたチェリー材を使ったカスタムメイドのキャビネットを使用。床はコルク。

片、6%のアクリル樹脂で出来ています。これにより、非常に硬く、耐久性のある表面となり、また見かけは本物のグラナイト材に似ています。コリアンやアヴォナイトといった他の硬い表面をもつ資材と比べて、非常に少ない量の樹脂を使用します。

非毒性のペイントとフロー仕上げ塗装—を使用しました。

**土地と水資源**

7,000ガロンの貯水タンクは屋根から雨水を収集し、ガーデニング用またトイレ用として使われます。その貯水タンクは住宅の南側に置かれデッキにもなっています。造園(ランドスケイピング)には、すべて干ばつに耐えることのできる植物を用意しました。芝生はありません。



雨水はデッキの下に設置された地下の貯水タンクに集められる。ガーデン用の水、及び住居内トイレの水として使用される。

歩道に、再利用コンクリートを使用しました。地域の下水道に雨水が流れていかないようにドライブ・ウェイには「エコ・ストーン」を使用しました。

センシブルハウスに関するさらに詳しい情報は以下のウェブサイトをご参照下さい。

[www.Sensiblehouse.org](http://www.Sensiblehouse.org)



**ワシントン州政府住宅産業プログラム・マネージャー御子柴 淳子が退職、元EBPA代表の伴 宜子が後任へ**

**<御子柴 淳子からのご挨拶>**

この度 8月25日をもちましてワシントン州政府日本事務所を退職いたしました。ワシントン州政府日本事務所に勤務するようになって8年、いたらぬ私ではごさいましたが、皆様方のご協力を頂戴いたしました。大過なく勤めさせていただいたことを心より感謝しております。本当にありがとうございました。

皆様とお会いできたことは人生の貴重な体験として今後活かしていくつもりでございます。9月中旬よりワシントン州政府本部(ワシントン州シアトル)へ移り、バイオメディカル製品を担当することになりました。業界が変わってしまいますが、どうか今後ともよろしくお導き下さいますようお願い申し上げます。

末筆ではございますが、ご健康とご多幸をお祈りいたしましてお礼のご挨拶いたします。

## 北米輸入建材のメリットを最大限に活かした一戸建て注文住宅プロジェクトの紹介

# 北米住宅建築システム+パッケージ通関=輸入住宅の原点

K-unit Planning Booth おかだ くによし e mail : kunit2u@ybb.ne.jp



ひと昔前に「輸入住宅」という言葉だけが独り歩きを始めてしまった際、関連各省庁やマスコミなどによって、様々な定義付けが試みられましたが、本流から垂流まで、十把一絡げに定義できないのは当然の帰結と言えます。今回ご紹介致しますのは、ある意味「輸入住宅」の原点とも言える「北米住宅建築システム+パッケージ輸入建材」というスタイルで建てた一戸建て注文住宅のプロジェクト・レポートです。74年のツーバイフォー工法の告示から、90年代の輸入住宅ブームを経た現在にいたるまで「北米式2×4工法」は、著名な建築家や識者の方々から様々な論じられてきましたが、当レポートは、現場での各実務の観点から実像をご紹介致します。

### 1) プロジェクトの概要

計画地は「30年前に開発された横浜市郊外の大規模住宅地」に位置しており、昨今の住宅市場を象徴する典型的な住替え需要と考えられます。建築主は、計画の具現化にあたり「ハウスメーカーでは総工費が不透明」また「地場工務店は仕上りイメージが不安」という理由から、輸入住宅に携る知人達で構成したプロジェクト・チームによる住宅建築という方法を選択しました。建材輸入元である(株)トラストボンドを「ヘッド」に据え、営業・設計・工務・資材・工事の各業務を実務メンバーによって、分担&協業する「バーチャル・ビルダー」とも言える組織を構築しました。

### 2) プランニング~実施設計

北米式住宅建築システムの合理性を最大化する為、基本プランから実施設計に到るまで(確認申請図は除く)、4'×8'の面材を基準にインチ・フィートの外寸押えに徹底しました。構造材をはじめ輸入建材を合理的に使用する上でモジュールの重要性を再認識しました。また「高齢者同居対応」の要望に対しても北米の設計基準は有効でした。設計業務に関して、基本プランをK-unit Planning Booth(東京)、実施設計をP-Six Iwate 一級建築事務所(岩手)で分担という「遠距離連携作業」を効率化する上で「e-コミュニケーション」は不可欠なアイテムでした。データ化された図面や申請書類等のeメール交信や情報の収集と交換とフルに活用しました。

### 3) 建材の輸出入&ロジスティック

建築部材のほとんどを一括輸入した当プロジェクトは、輸入関税が免除となる「輸入建材のハウス・パッケージ通関」制度を利用しました。申請から通関までをスムーズに運べたのには、このシステムの実務経験が豊富な「コンソリデーター」PAC-RIM BUILDING SUPPLY社と「国内流通拠点」トラストボンド社の永年にわたるノウハウに因る所が大きかったと思われれます。また、最重要ポイントとなる、資材のロジスティック体制に関しては、日米2社の「司令塔」として位置するY'nuts Collaborationが現場の作業効率・進捗状況や部材特性などを適確に判断し「常にベストな配材」をディレクションしました。追加オーダーに利用したPAC-RIM社の定期混載コンテナ/エスパー便は、少ロットの部材でも手軽に輸入が可能なので、リフォーム物件等、他にも様々な利用方法が考えられそうです。



### 4) 輸入建材の仕様

基本的には、北米のオーソドックスな住宅部材を標準仕様としましたが、ある部分では、新しいアイテムや施工システムをいくつか試みてみました。その一つは、サイディング、内部ドア、巾木、ケーシング等に塗装済製品を採用することで、現場塗装をタッチアップ程度の作業量に軽減し、工期の短縮を実現しました。また、Hardiplank サイディングの塗装済製品には「共色」のコーキングがある事をオーダー後に知り、急遽追加オーダー。PAC-RIM社からエスパー便で届いた共色コーキングは、職方からの評判も良く、有効な施工アイテムでした。また、今回初採用したCertainteed社の樹脂サッシ製品は、見るからに堅牢なつくりと良好な操作性を備えており、プロジェクト関係者の評価は良好でした。子供部屋の出窓として採用した同社の「ガーデンウィンドウ」は、屋根部分までガラスの一体型サッシベイウィンドウのため施工性・採光性に優れ、お客様にも大好評でした。

### 5) ドライウォールと工程スケジュール

アメリカ本国の2×4住宅では、気密性・耐火性・構造強度の観点から、壁紙仕上げの場合でも、「ドライウォール」は必須工事になります。施工過程は、横貼りした4'×8'のテーパー石膏ボードを、専用ツールでジョイント部を「テーピング」し、3工程の「パテ&サンディング」によって、連続した「シェア・パネル」をつくり、吹付け塗装で仕上げます。よく同一視される「寒冷紗の総パテ仕上」とは、「似て非なるもの」です。今回のプロジェクトでは、十年以上に亘りドライウォールを標準仕様とし、職人育成にも尽力してきたP-Six Iwateから特別参加してくれた施工チームが「R形状の壁出隅」や「窓開口の巻込み」など、本場米国のプロにも劣らない高水準のパフォーマンスを披露してくれました。造作工事の前にドライウォール&ペイントを施工する「北米式工程スケジュール」は、工期短縮、養生の軽減等、合理的なシステムであることを再認識しました。



### 6) 新・建築基準法への対応

建築基準法の定める「VOC規制認定材」に該当する部材は、基本的にF☆☆☆☆認定済製品を使用しました。輸入建材の認定証は、PAC-RIM社経由で米国メーカーから取寄せ、完了検査申請時に現場写真と一緒に提出。中間検査時に、構造合板と断熱材の認定書を、後日提出と指導されたのが少し意外?でした。「換気システム」に関しては、強制換気のメリットを活かす試みとして、スタイロフォームで外周部を囲った外断熱仕様の基礎(換気口やパッキンを使用しない)と床下にダクト配管&1階床に吸気口を設定し、床下を室内の温度・湿度に近付けるシステムを採用しました。

### 7) プロジェクト総括

プロジェクトを通じ「北米の住宅建設システム&パッケージ輸入」には、多くのメリットや様々な可能性があることとあらためて再認識したのと同時に、建設業のスキルだけでは、日米両国間で異なる「度量単位」「言語」「商習慣」等が大きな障害となっていることも理解できました。しかし、今回の参加メンバーで唯一「建設業」を専業とするP-Six Iwateは「適材適所」のビジネスパートナーと「コラボレーション=協業」体制を構築した事で、地元を中心に「北米住宅建設システム&パッケージ輸入」住宅を安定供給するオンリーワン企業として見事に成功しています。着工から竣工まで、「大工」を中心にする日本の伝統的「現場」とは対照的に、専門化された各職種によってバトン・リレーのように作業をこなすアメリカの住宅建築システムの「効率重視型コラボレーション」から学ぶ点は、まだまだ多いと感じました。米国の住宅生産システムは本来「多棟現場」に適しているのは事実ですが、各業務の専門化、スペックの標準化、工程の合理化など、一戸建て注文住宅の生産性向上にも通じる原理原則であると実感しました。

# 2005年1月エバグリーン主催

エバグリーン 建築資材貿易振興会

日本事務所

## アメリカ住宅視察 (シアトル2日間)

8月アメリカ住宅視察では日本から21名の方にご参加いただきました。ありがとうございました!

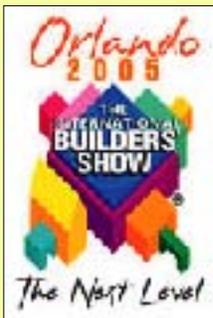
2日間 プログラムー 1月10日(月)~11日(火)

シアトル現地での参加費用:  
エバグリーン会員 33,000円  
一般 37,500円

NAHB全米ホームビルダーズショー (1月13日~17日、フロリダ州オーランド市) と組み合わせるご旅行に最適!

エバグリーン視察ご参加の皆様全員にNAHB 4日間の入場券 (300ドル相当) を差し上げます!

アメリカで年一回行われる最大級の住宅建築・建材の展示会です。この1600を超える出展者が集まるイベントは、世界中から訪れるビルダーや設計者にとって、重要な機会です。



### 1月10日(月)

#### シアトル住宅コミュニティ開発の視察

シアトル市はワシントン州での住宅着工数の60%を占めるほど住宅建設が盛んに行われております。多様な住民構成と生活スタイルのニーズに対応するため、地域デベロッパー、ビルダーがユニークな提案をしています。地域でベストでしかも全国規模でも認められている2つの開発物件を視察します。

- 開発業者からの説明、質疑応答を通じて彼らの事業展開について学ぶ。
- バラエティーに富む物件ミさまざまなビルダー、設計家、インテリアデザイナーによる物件を視察。
- 綿密に計画された地域開発プロジェクト- 戸建住宅、商業建築、コミュニティ施設、公共施設が融合された地域開発を視察。



#### 活発なシニアのための住宅コミュニティ

退職後、老後のシニアはどのように生活しているのでしょうか? 介護を必要とせず活発に生きるシニアのために開発された住宅コミュニティ - 合計21戸の一階建て住宅 (ベッドルーム数: 2~3、床面積: 1295 - 3581 sf、価格帯: \$250,000~\$700,000台中心) を視察します。開発がすべて完了すれば975エーカーの土地に1500の住宅、12マイルの散歩道、18ホール・ゴルフコースのコミュニティが誕生します。

#### 「シアトル・コムーター、アーバン・ビレッジ」住宅コミュニティ

このプロジェクトは、多様な生活スタイルをもつ人々が家の外でも安全な環境、また広大なオープンスペース環境に住み・働き・遊ぶ一目的で開発されました。経済的な販売価格の住宅を含め、設計と住まい方に十分な幅をもたせ、多様な生活スタイルをもつ住まい手のニーズにうまく対応しています。ここでは、一世帯住宅・複数世帯のための住宅、商業施設、リレーション施設が融合したもので、完成時には最高3250戸の住宅となります。

#### ミニ展示会&レセプション

建材メーカー、流通業者と交流の場とし、製品やサービスの情報収集、実際のご商談いただくことが可能です。製品郡としてはランパー、エンジンアワード、窓・ドア、キッチンキャビネット、床材、パネル製品他。

### 1月11日(火)

#### 米国流リフォーム・ビジネス成功の具体例

##### セミナーと実際のリフォーム物件視察:

リフォーム専門業者リック・エイラム氏から成功の具体的なノウハウを学びます。内容は物件ごとの管理、顧客対応、下請け業者との関係、マーケティング、リモデルと新築との比較など。物件視察では、工事途中のもの、完成済みも含めながら、家一棟、キッチン、バスルーム、外壁などバラエティーある具体的物件を視察しデザインから建材の選び方まで学びます。

##### 講師のプロフィール:

##### リック・エイラム氏

創業以来25年リフォーム専門業の経営者。彼のリモデルに対する情熱はバスルームとキッチンの小規模のリフォームから始まり今日では、家一棟やオフィスのリフォームも手がけている。ワシントン州で唯一、全米リモデル協会と全米ホームビルダーズ協会の二つの団体から指定リモデル業者として選ばれている。



#### シアトル2日間視察、参加費用に含まれるもの

- セミナーの日本語通訳と資料
- シアトル・現場視察へのバス交通費
- 1/10, 1/11の昼食とレセプション参加費用
- 建材メーカー等の製品カタログ

#### 参加費用に含まれないもの:

- 航空代金
- ホテルでの滞在費

#### お申込期限:

12月13日 (月)

#### キャンセル料について:

12月13日まで 100% 返金  
12月27日まで 50% 返金  
12月28日以降 返金なし



お問合せ お申込: エバグリーン建築資材貿易振興会

代表者 梶田 章

〒105-0001 東京都港区虎ノ門5-4-8-301

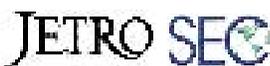
電話: 03-3459-0898 FAX: 03-3459-0897

Email: ebpa@mue.biglobe.ne.jp

後援:



STATE OF WASHINGTON  
米国ワシントン州政府通商経済開発局



お申込・お問い合わせ FAX: 03-3459-0897

フリガナ
会社名/担当者名
フリガナ
住所
Tel/Fax

# ~Meet EBPA~

• WE MAKE FRIENDS WITH EVERY SALE •

## PAC-RIM BUILDING SUPPLY, INC.

今回、EBPA会員であるパックリム・ビルディング・サプライ社（以下パックリム）より事業の説明、マーケットの現状と展望などについて、営業部長のジョン・ケイヒル氏にインタビューを行いました。



**Q:** パックリム社はどのような会社ですか？

**A:** 弊社はコンソリデータと言われる建材卸売輸出会社です。日本の工務店、設計士や卸売業者がアメリカから直接住宅建材を輸入できるよう一括して調達・出荷しています。米国を代表するマーヴィン、サーテンティード、バッファレン、サーマスルー、コーラー、フィッツ、ターンクラフトやファイボン社など主要メーカーの製品を取り扱っています。当社にはコンテナトラック22台を同時に積載可能なドック施設を保有し、シアタック空港からも近く、シアトルとタコマの両港から輸出しています。1985年以來、2,000本以上のコンテナを輸出した実績があります。また、アラスカへも住宅資材を出荷しています。

**Q:** 2003年7月に施行された改正建築基準法によってお客様の注文は変わりましたか？また、米国のメーカーはどのようにに対応しましたか？F☆☆☆☆を取得したメーカーを教えてくださいませんか？

**A:** 施行当時、日本におけるビジネスに対する先行き不安がありました。私たちはコンソリデータという立場なので、メーカーがF☆☆☆☆承認をとってくれることに依存するほかありません。メーカーの方針、あるいはその製品によって、すぐ承認がとれたものもあれば、時間がかかっている商品もあります。例えば、たくさんあるパーツを試験に出す必要があるキャビネットメーカーに比べると、階段の踏板の承認を取得するほうが簡単です。メーカーの日本市場に

対する積極性や試験をする製品によって、対応はさまざまでした。また、日本市場への売上が全体のシェアと比較して小さいメーカーにとって、F☆☆☆☆を取得する費用と時間を費やすことを正当化するのが難しいという企業もあります。反対に実際にその費用と時間を費やした企業が数社あります。いくつか挙げるとバッファレン・ウッドワーキング、フィッツ・ステアパーツ、ノードドア、デュイルズ・インダストリーズとLJスミスなど。キャニオン・クリーク・キャビネットのように現在も承認の過程にあり、まもなく承認を取得する企業もあります。

**Q:** ここ数年の間、住宅産業市場は大きな再編を遂げてきました。パックリム社などのようなコンソリデータにとってどのような影響がありましたか？また、今後の日本市場に何を期待していますか？

**A:** 米国に本社がある弊社のようなコンソリデータにとって1996年以降、大きな挑戦の時期となりました。私が分析するところ次の要因があると思います。

- ① 1997年4月の消費税引き上げが新規住宅着工数に影響
- ② 1995年に\$ 1 = 80円だった為替レートが1998年に\$ 1 = 144円と円安傾向が続き米国の住宅資材の価格が80%増加
- ③ 消費者の輸入住宅に対する好みは米国スタイルから北欧風へ変わっていったことで米国の建材の需要が低下
- ④ 日本国内の建材卸売業者が在庫をもって米国建材を販売しはじめたことで、米国に拠点があるコンソリデータのシェアが低下

これらの一連の出来事がアメリカにあるコンソリデータを影響し、多くの企業が廃業する結果となりました。弊社では日本への輸出量の激減をアラスカなどへの別のマーケットで相殺することができたのは幸運だったと思います。時間は多少かかりましたが、2001年に開始したエスパー便なども一例ですが、日本への販売を軌道に乗せる戦略を考案することでできました。エスパー便はパックリム社発の定期混載コンテナで建材の直輸入が簡単・便利・お得なシステムです。国内通関業務まで一貫したサービスで現場までお届けしますので、安心です。さらに2003年から、はじめてエスパー便を利用したお客様に対して「輸送費が無料」のキャンペーンを開始し、これは売上に大きく貢献しました。今後の見通しは明るく、米国の住宅建材の需要はこの先も伸び続けることを予測しています。

**Q:** 現在、日本からの需要が特に伸びている商品はありますか？

**A:** 石膏ボードを含むドライウォールに付随するドライウォール部材、無垢のプレハングドア、樹脂製の窓とサイディング、キャビネット、金属屋根材等。これらの製品に人気が集まっているのは価格と特徴あるデザインだと思います。その中でも樹脂サイディングは施工のしやすさ、お手ごろな価格、軽量、出荷が簡単、塗装が必要ないというような理由で特に需要が伸びています。一部のお客様は準防火地域の新築物件に採用しており、また、リフォームでは今あるスタッコのサイディングから変更さ



れる方もよく見られます。弊社のエスパー便を活用いただければ、特にリフォームをされる業者は樹脂サイディングを小口注文いただいてもコスト効率よく輸入できる利点があります。

**Q:** 輸入住宅や輸入建材の需要に影響する業界の傾向をどう見えていますか？米国企業はどのような反応を示していますか？

**A:** 前述のように、消費者の需要がアメリカのデザインから北欧住宅に移行した時期に米国から日本への輸出に大きな影響がありました。最近ではさらにシンプルでモダンな、ドイツやイタリアのデザインが好まれているようです。米国企業はすでにマーケットシェアが減っているので、この動向は米国企業より北欧サプライヤーに大きな打撃を与えると私は思います。米国企業は引き続き、デザインの豊富さと費用対効果の利点、そして、さまざまなスタイルの住宅に採用できることを推進するべきだと思います。

**Q:** 今までどのようなプロジェクトに関わってきましたか？米国及び日本の企業にとって短期そして長期のビジネスチャンスはどこにあると思いますか？

**A:** 弊社の顧客層は広範囲にわたっています。お客様は工務店、設計士と卸売業者で一般住宅だけでなく商業施設の建材も供給しています。例をあげると、私たちのお客様の中にはランバー材、窓、ドア、キャビネット、床材、ドライウォール部材から断熱材まで、1棟分の住宅資材をハウスパッケージとして輸入している方から、弊社のエスパー便を使って窓やキャビネットなどの商品を数点だけ輸入されている方もいらっしゃいます。高級住宅の施工のみ、また、坪単価30万以下の住宅販売をされているお客様がいらっしゃいます。日本では結婚式場、居酒屋、マンションから教会まで手がけた経験があります。米国と日本の企業のビジネスチャンスについての後者は難しい質問です。私たちが心がけているのは、米国の建材が必要な時期がお客様にきた場合に、まず弊社に連絡をもらえるように、サービスを絶えず向上するように努めています。

**Q:** ヨーロッパ、アジアやカナダからの製品が日本に輸入されて、市場は益々厳しいようですが、米国企業はどのようにしてこの競争に勝ち抜けると思いますか？

**A:** 確かに日本のマーケットは非常に大きいので、世界中からさまざまな商品が入ってくる余地があると思います。そこで、米国企業はお客様の身になって、どのようなサービスを求めているのか理解する必要があります。弊社では、お客様のニーズに応え改善する部分はたくさんあると考え、サービスを向上することによって、競争力を保つことができると信じています。

# ワシントン州政府が発行する書籍一覧



ワシントン州政府では米国の工法や建材のご理解をいっそう深めていただき、皆様の事業に役立てていただくために下記の出版物をご用意しています。ご希望の方は下の資料請求申込書をご記入ください。

## 「在来工法のための輸入窓・ドア発注から、取付け・仕上げまで」

木造軸組工法における輸入窓とドアの発注・取付け・仕上げ方マニュアル

今まではツーバイフォー住宅に取付ける輸入窓・ドアという前提でしたが、そのデザイン、性能、価格面等から日本の消費者の人気を集める中で、在来工法でも輸入建材が比較的容易にご使用いただけることをセミナーで実践し、イラストや写真でわかりやすくテキストにまとめました。



フレーマー（枠組を専門に行う大工）のための基本的なテキストを探していた著者スコット・シンプソンが25年以上にわたる自らの経験を元に専門用語の意味からフレーマーの管理方法にいたるまでわかりやすく説明しています。



## 「輸入窓の取付け方：地域対応の耐水防湿対策」

ツーバイフォー工法における輸入窓の取付けに関する技術の詳細を含んだマニュアル



日本の気候に適した窓の種類や保管方法及び輸入窓の正しい取付け方が詳細に記載され

## 「枠組作業と建設初期段階の大工仕事」

北米式ツーバイフォー工法に関心のある方々のための躯体工事マニュアル

た資料です。全米窓・ドア生産者協会(WDMA)による検査基準に関するスライドも含まれています。

## 2004～2005年版「ワシントン州住宅建材企業案内」無料頒布

ワシントン州は米国でも最大の住宅産業の規模を誇っており、日本への建材輸出量のうち、当州の占める割合は50%以上を達しています。州内には米国を代表するメーカーやサプライヤーがサービスを展開しており、北米の最高レベルの建材や技術が集積しています。本誌には特に日本市場に積極的な企業の業種、取扱商品などの業務内容、事業規模、米国や日本での連絡先などの詳細が掲載されています。各社、日本人スタッフはもちろんのこと、日本に翻訳された資料やカタログの充実化に力を入れており、細やかな対応をしている企業ばかりです。皆様の業務にお役立てください。州政府のホームページでもご覧になれます。



# ワシントン州政府日本事務所 活動スケジュール

<2004年10月18日～22日>

ワシントン州住宅建材セミナー

新潟・富山・金沢・福井・京都

米国企業が約10社来日し、住宅市場の動向やエコロジー商品・設備など幅広い製品・サービスを紹介。ミニ展示会、実演、個別商談会、設計相談も実施。

／東京ビッグサイト

ワシントン州及びEBPAパビリオンでの出展企業（順不同）：キャスケード・コンポーネンツ/K-ウエスト/ハード/サウス・ウエストドア/ケムクレスト/ホームテック・デザイン/LJスミス/ウェザーシールド/パッカリム・ビルディングサプライ/アイダホ州政府/ディー・トレーディング

<1月26日(水)～28日(金)>

ヘルスケア2005/東京ビッグサイト

ワシントン州内及びEBPA会員企業の出展

『アメリカ住宅産業情報』19号発行予定

<3月18日(金)～21日(祝)>

西日本トータルリビングショー

／北九州・西日本総合展示場・新館

ワシントン州内及びEBPA会員企業の出展

<10月26日(火)～27日(水)>

清水FAZ輸入商談会/清水マリンビル

ワシントン州内及びEBPA会員企業の出展

<2005年1月>

EBPA冬季住宅視察ツアー

フロリダで開催されるNAHB2005(1月13日(火)～16日(日))の直前に開催。シアトル近郊での視察中心。希望者には、企業・工場視察・商談などをセットアップ可能。

<3月1日(火)～4日(金)>

建築・建材展2005

／東京ビッグサイト

ワシントン州内及びEBPA会員企業の出展

<11月16日～19日>

ジャパン・ホーム・ショー2004

資料請求 FAX 申込書 米国ワシントン州政府日本事務所 FAX 03 - 3459 - 0897 e-mail: wsjoban@gol.com

「ワシントン州住宅産業情報」の定期購読や下記資料の入手や掲載を希望される方は、必要事項をご記入の上、ワシントン州政府日本事務所までファックス、Eメールにてお申し込み下さい。

1. 「アメリカ住宅産業情報」定期購読希望 (無料 年に2回発行)
2. 「在来工法のための輸入窓・ドア 発注から、取付け・仕上げまで」(2000円・送料別)
3. 「枠組作業と建設初期段階の大工仕事」(2000円・送料別)
4. 「輸入窓の取付け方：地域対応の耐水防湿対策」(2000円・送料別)
5. 「アメリカ住宅建材企業案内2004～2005年版」(無料)
6. 改正建築基準法に対応した企業リスト (P.4参照)
7. 住宅建材セミナー申込書希望 (上記参照)
8. 作品紹介 掲載希望 (プロジェクトを募集中)
9. その他ご意見・ご要望

フリガナ		
会社名	担当者	
フリガナ		
住所		
TEL	E-mail	
FAX		
業種	1. 建設施工会社 4. 建築設計事務所 6. その他 ( )	2. 建材卸会社 5. 販売代理店
	3. 商社・貿易会社	

- 下記ページの広告にご関心のある方は印をつけて下さい。
- P2.ウエスタンパシフィック
  - P3.MK USA INC.
  - P4.BMD
  - P8.パッカリムビルディングサプライ
  - P9.シンプソン
  - P16.アームストロングホームズ

